

科目区分	専門分野	科目名	共通基本技術 I (環境と安全)	対象学生	第 1 学年
		単位数 (時間数)	1 単位 (30 時間)	学 期	第 1 学期
担当講師	市川真理子(臨床経験 10 年、教育経験 5 年)、田所正春 (臨床経験 8 年、教育経験 12 年)				
科目目標	看護に必要な基本技術の概念を理解し、環境調整と安全確保の基本的技術を習得する。				
授業計画	環境：20H 担当：市川 真理子 第 1 回 看護技術とは (講義) 1. 看護技術の特徴 2. 看護技術の範囲 3. 看護技術を適切に実施するための要素 第 2 回 療養生活における快適な環境条件 1 1. 環境の概念 2. 療養生活と環境 3. 療養環境の空間 第 3 回 療養生活における快適な環境条件 2 1. 環境条件について (講義) 第 4 回 感染予防 1 (講義・演習) 1. 感染予防の基礎知識 2. 標準予防策 1) 衛生的な手洗いの方法 2) 個人防護具(マスク・エプロン)の方法 第 5 回 ベッドメイキング 1 (講義) 1. ベッドメイキングの目的 2. ベッドメイキングの種類と特徴 3. 作業域の調整と動作 4. リネン類のたたみ方 (演習) 第 6 回 ベッドメイキング 2 (演習) 1. クローズドベッドの作成方法 1) 下シーツの敷き方、 三角コーナーの作成 2) 防水シーツの敷き方 3) 横シーツの敷き方 第 7 回 ベッドメイキング 3 (演習) 1. クローズドベッドの作成方法 2. オープンベッドの作成方法		第 8 回 臥床患者のリネン交換 (演習) 第 9 回 療養環境整備 3 (講義) 1) 環境整備の目的 2) 環境整備の必要物品 3) 手順と根拠・留意事項 第 10 回 療養環境整備 4 (演習) 1) 環境整備の実際 安全：10H 担当：田所 正春 第 11 回 感染予防 2 (講義) 1. 感染経路別感染予防策 1) 空気感染 2) 飛沫感染 3) 接触感染 2. 感染性医療廃棄物の取り扱い 1) 洗浄・消毒・滅菌法 第 12 回 感染予防 3 (講義・演習) 1. 滅菌物の取り扱い(無菌操作) 1) 滅菌包みの開け方 2) 滅菌物の取り出し方 3) 鉗子・鑷子の取り扱い 4) 綿球の取り扱い 5) 滅菌手袋の着用方法 第 13、14 回 安全確保の基礎知識 (講義) 1. 安全の意義と目的 2. 医療安全に関する重要な概念 3. 医療事故の種類 4. 安全を阻害する危険因子 5. 医療事故の現状 6. 事故防止対策 1) 患者誤認防止の方法 2) 誤薬防止の方法 3) 転倒転落防止 第 15 回 終了試験		
評価方法	筆記試験、課題レポート				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術 II 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社				
講師からのメッセージ	形態機能 I、日常生活援助技術 I (活動・休息)、物理学 (ボディメカニクス)などを想起し、科学的・理論的裏づけをする。看護技術の基本となる理論(看護学概論、看護理論)を想起し、看護技術の基本原則を理解する。原理原則に基づき校内実習を展開する。根拠を明確にし、確かな知識に裏づけられた技術が実施できるよう取り組む。技術練習を行い、主体的に指導を受ける。国家訴権出題基準を確認し学習すること。				